



桜中だより

坂戸市立桜中学校
校長 石田章浩
令和5年3月15日
【第12号】

学校教育目標

自ら学び心豊かでたくましい生徒の育成



生徒数	1年生	99名
	2年生	110名
	3年生	99名
	全校	308名

「卒業生代表の言葉」

校門の桜の蕾も膨らみはじめ、春の香りが漂い始めました。今日、新型コロナウイルスの規制が緩和されつつある中、私達のために晴れやかな卒業式を挙げてくださいましたこと、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの規制が厳しくなった4月、私達は入学式を迎えました。楽しみにしていた中学校生活にも拘らず、行事の縮小、中止、友達の顔も名前もまだはっきりとわかっていない中の分散登校で、不安な立ち上がりでした。しかし、私達の学年はそれらのことを気にもしないほど、校訓である澁刺とした態度で生活し、とても楽しい1年を過ごすことができました。2年生になってもなお、新型コロナウイルスに伴う規制がありましたが、修学旅行は先生方の計画の練り直しによる努力の末、中止ではなく、延期という形になりました。部活動ではかなり制限されて週2回の1時間以内で実施可能とされていました。時には部活動停止期間があり、思うように活動することができなかつたと思います。その中でも、私達は、一人ひとり考えて行動することができていたと思います。3年生になり、始業式の6日後の4月14日に修学旅行に行きました。仲間と計画を立て実行する大変さを知ることができました。1日目は電車のトラブルがありましたが、皆さんは冷静に対処し無事修学旅行を終えることができました。5月には、3年間の中でも1番記憶に残った体育祭が実施されま

した。正直、私の中ではまだ体育祭の日から3か月ほどしかたっていないように感じます。学年の間に隔ててあった壁を乗り越え、団練習の時は、テキパキした行動がとても美しく見えました。当日は、団が一つになって白熱した勝負ができました。そして、3年生が前に立って1、2年生を引っ張る姿はとてまかつこよく感じました。10月には合唱祭があり、初めて坂戸市文化会館で歌うことができました。全クラスとてもきれいな歌声でした。

そして、今日に至ります。無事に楽しく学校生活を過ごし、今日この場にいることができたのは、まぎれもなく先生、家族、皆さんのおかげです。親身に相談にのり、時には叱りつけてくださった先生方。時には失敗してしまう私達を最後まで信じてくれました。本当にたくさん迷惑をかけたと思います。それでも熱心に指導してくれる先生方には本当に感謝の言葉しかありません。そして、私達が最もお世話になっているお父さん、お母さん。いつもたくさん迷惑をかけ困らせたことと思います。しかし、そんな私達もあと3年で成人を迎えます。できる限り迷惑をかけないように努力しますが、間違ってしまった時は、優しく、厳しく教えてください。家族の期待に応えられるよう、毎日一生懸命に様々なことに取り組んでいきます。どうかやさしく見守ってください。

今日一緒に卒業していくみんな。一緒に遊んでくれて、たくさん話してくれてありがとう。みんなが3年生になって、頼もしくかつこよくなっていくのも誇らしく思うと同時に、卒業という別れをどうしても意識してしまい、寂しい思いです。本当はまだみんなと一緒にいたいけど、一人ひとり自分で道を歩まなければなりません。これから先、たくさんのことを学び、経験することでしょう。きっと、新たな課題にぶつかり、乗り越え、成長するでしょう。その中で私達は、今日この日まで桜中学校で学んだことを活かし、それぞれの進路で頑張りたいと思います。

最後に、桜中学校がこれからも素晴らしい歴史を刻んでいくことをお祈りして卒業生の言葉とさせていただきます。

